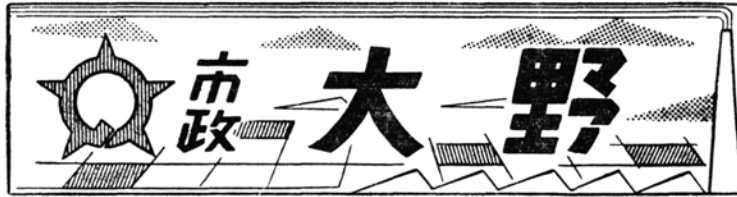


発 行
福井県大野市役所
(総務課広報係)
電話(代)6-3600
夜 間 6-3601
印刷 松浦印刷所



10月の人口の動き

出生	男 21	女 23	計 44
死亡	〃 15	〃 15	〃 30
転入	〃 122	〃 115	〃 237
転出	〃 127	〃 132	〃 259
世帯数	9,518		
人口	44,909		
男	21,671	女	23,238

市民が待ち望んでいた県立大野工業高等学校は、明年4月に開校と決まり、目下友江に建設を急いでいます。

同校は、機械科、電気科各2クラス、土木科1クラスで、1学年定員200名の収容規模で、総工費約2億9千万円、3カ年計画で建設されます。

ことしの事業費は約7千500万円で、鉄筋3階建て延べ3千229㎡の普通校舎を明年3月末に完成。建設場所は、友江変電所から200m北方の清滝川沿いで、敷地(5ha)は市が提供することにな

待望の大野工業高校 明春友江に開校

り、一部理め立てが終了しました。

年次計画は次ぎのとおりです。

39年度は、普通教室10室、土木製図、物理、化学、電気機器電気磁器、機械工場、職員室各1室と準備室となつています。

40年度は工費約7千500万円で、体育館、実習、実験試験、機械製図室など11室。

41年度は工費約8千500万円で、普通教室2室と生物、社会、美術各1室、電気製図、水利実験 鑄造工場など9室と管理室3室が建設されることになっています。



(なごやかな荒島保育所の開所風景)

荒島保育所開設

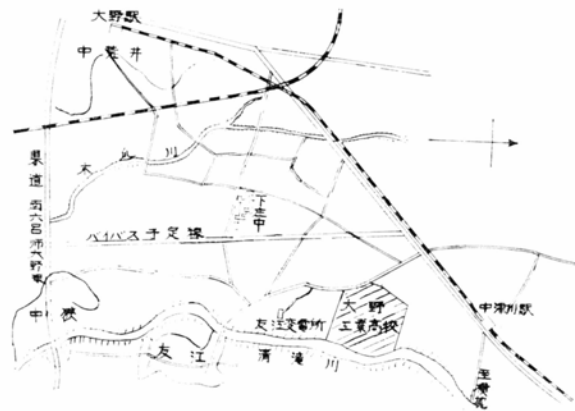
蕨生に常設の市立荒島保育所が10月1日から開所しました。

この保育所は、山村辺地の常設保育所として、当市で初めて唯野、蕨生、木落の3部落の幼児を対象に蕨生の荒島公民館を借りて開設したものです。収容人員は95名ですが、現在44名が朝8時から4時まで保育されています。

杉本委員長、寺島教育長が同月10日で任期が満了したため、その後任に選ばれたものです。

教育委員会は教育行政の執行機関で、議会の同意を得て市長が任命した5名の委員によつて組織されています。

現在の委員は宇野金作(五番)、野村重三(春日五区)、松田彦一郎(森目)、寺島利鏡(新在家)、板橋研司(上据)の各氏。



10月11日
に開かれた
教育委員
会で教育
委員長に
宇野金作
氏、教育
長に寺島
利鏡氏が
それぞれ
互選され
ました。
これは、

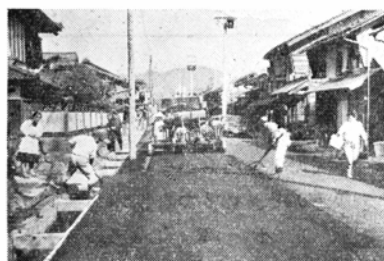
寺島氏、教育長に三選 委員長は宇野金作氏

四番上など舗装

市道四番通りの六間、鋸町(おがまち)間177mと、二番通りの七間、六間間96mの舗装工事がこのほど完成しました。

四番通りの舗装工事は35年度からはじめられたもので、これまでに工費392万円で県道六呂師線から鋸町間延長655mの全線がアスファルト舗装になりました

二番通りも、昨年工費287万円で正善町から七間まで延長428mが完成してい



(完成した四番通り)

ます。

基本選挙人名簿の縦覧

と き 11月5日~15日
と ころ 市役所総務課

産米の売り渡し額14億円 出荷量は昨年を上回る

当市の99年産米の政府売り渡し数量は10月20日現在で1万9千905tに達し、昨年最終数量を891t(1万4千846俵)上回り、売り渡し額は14億500万円(包装代を含む)になります。

出荷数量が昨年を上回つたのは、天候の関係や、病害虫防除が徹底したこと、昨年非常に悪かつた中稲、晩稲が良かったことや、農家の保有米を最少限にして

出荷したものと思われます。しかし品質は悪く、1等米が1千560kg(26俵)で、3等米が全体の66.5%、4等米が16.8%となつています。

作柄は、農場の栽培基準試験(毎年同じ水田で同じ肥培管理で行なう)によると、ハウネンワセは昨年より悪く、中稲のマンリヨウ、晩稲のアスワは良い結果が出ています。

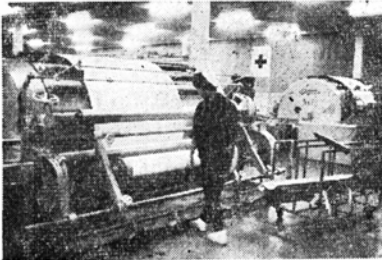
市全体的にみると、湿田が乾田より良かったようです。出荷別では粳(うるち)が1万2千728t、糯(もち)が484t、酒米が654tで酒米は年ごとにふえています。次ぎの表は地区別出荷数。

地区別	予約戸数	予約数量	政府売り渡し数量	
			99年10月20日現在	98年
大野	175	8,416	9,850	9,586
小山	318	25,850	27,977	24,794
乾側	236	16,789	18,685	17,983
下庄	691	97,627	40,100	39,972
上庄	975	56,627	64,091	60,858
富田	767	44,098	48,039	44,539
阪谷	536	20,068	29,084	19,968
五箇	24	499	591	456
計	3,662	209,914	231,751	216,896

操業を開始

東洋サイジング大野工場

当市の工場誘致第1号の東洋サイジング大野工場が南春日野に完成。10月8日から操業を始めました。



(整経作業)

同工場は、輸出向けのナイロン、テトロンのでたて糸を自動的に繰返し、ねん(燃)糸、コーン巻、整経して、織り物ビームに仕上げ、市内東レ系の9機業場へ月産6千疋(ピキ)を送り出しています。

新工場は、総工費3億3千万円で、鉄筋平屋建て延べ2千300㎡、最新型のねん(燃)糸機(ダブルツイスター)18台、コーン巻機32台、整経機が整備され、工場内

は、地下水を利用して、四季を通じ温度24~26°C、湿度70%に保たれています。従業員は50名で市内から採用されています。

織物機業は、労力の大半が準備工程にかかるので、作業の合理化による生産費の節減と、製品の統一、品質の向上がねらいです。

こうした工場の進出によつて転換期といわれる繊維機業の躍進が期待されます。

50万本を達成

市有造林の記念植樹祭

市有造林50万本達成を記念して、10月30日、上荒井の市有地で市長や議員、各団体役員ら市政関係者200名が参加して5千本の記念植樹を行ないました。

市発足以来、毎年市有造林を行なっていますが、ことしで造林面積が150ha、植樹数が杉、松合わせて50万本になりますので、これを記念して植樹祭を行なつたのです。

この日、市営苗畑で生産された3年生

の杉苗を、1人当たり25本平均植え込みました。

公園はいつもきれいに

くずかご8個取り付け

自然公園をいつもきれいにし、訪れるハイカーたちに、秋の紅葉を満喫してもらおうと、九頭竜峡や真名峯、六呂師高原に鉄製のくずかご8個(1個5千円)を取り付けました。

これは、国立自然公園の美化運動が10月15日から1カ月間行なわれていますので、市が

堀兼、銭亀、魚止勝原、六呂師などに取り付けたものです。



(銭亀に取り付けられたくずかご)

月千円を支給

重度精神弱児に福音

精神薄弱児をお持ちのかたたちのために「重度精神薄弱児扶養手当法」が成立し、月額1千円の扶養手当が支給されることになりました。

知能指数35以下で、常時介護を必要とする児童をお持ちのかたは、市役所市民課年金係へ早目に届け出てください。

防火は身のため

人のため

火事は直ちに「119番」へ

◀みんなの心がけで、火災から家を郷土を守ろう▶

一人一人が責任を果たそう!

ふだんの4つの心がけ

○まわりに燃えやすい物のあるところ

では、火を扱わない。

○いたんだ器具は使わない。

○使用中はそばを離れない。

○火の後始末をたしかめる。

火事のときの3つの心がけ

○早く「119番」へ電話しよう。

○初期消火につとめよう。

○消火のじやまをしないように心がけよう。

市では6月末から1か月間赤ちやんコンテスト県予選を兼ねた乳幼児検診を行なった結果、身長、体重、精神発達ともに標準以上、無病気で予防接種を完全に受けている優良児20名を10月5日に表彰しました。

ことしの該当者は、98年に生まれた1千177名で、うち検診を受けたものは817名でした。

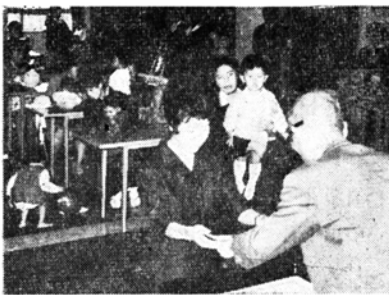
審査の結果、乳幼児の発育は年々向上しており、体位は標準以上のものが全体の40.3%、普通が36.8%、標準以下は22.9%で昨年とは3%減つています。

栄養方法では、母乳が全体の53.5%、混合乳が26%、人工乳が20.5%と、母乳による育児が年々少なくなる傾向です。

病気で最も多いのが湿疹で、次いでハルニヤ(脱腸)となつております。

表彰された赤ちやんは次ぎのとおりで1位の4名は先に行なわれた県大会に出場しました。

- 幼児の部** (カッコ内は保護者)
1位=今井 木下博之(貞雄) 中荒井



(よろこびの表彰風景)

赤ちやんコンテスト
標準以上が四〇パーセント

文化祭の行事

- 11月1日~7日 「文化週間」
- 11月1日 午後7時
邦楽演奏会
- 11月2・3日 第1会場、有終西小学校
- 文化財展示会 家庭室
(明治、大正、昭和の書画展)
- 働く者の生花展
- 写真展(写友会、彩影会)
- 書道展
- 小中学校作品展

- ・婦人会バザー
- 【第2会場、大野公民館】
- 余技作品展(川柳、生花、余技作品)
- 菊花展(盆栽も含む)
- 金魚展
- 華道展(公民館となり市車庫)
- 11月5日 午後7時
語る雑誌「いとよ」発表会
有終西小学校
- 11月21日(土) 午後1時30分 市役所
美術講演会 関西学院 源 教授

中川純子(宣夫)
優良児=神明上 中島竜二(竜男) 旭東 神谷秀樹(清一郎) 篠座中 朝国 和美(政和) 阿難祖領家 土屋直広(四郎一) 二番上 南部悦子(利栄) 新在家 村上ちや子(信夫) 稲郷 辻明美(保夫) 藤生 山崎 真由美(喜三郎) 不動堂 清水雪代(義英)

- 乳児の部**
1位=中荒井 宮本豊彰(国男) 上中野 小池広千代(昭一)
優良児=寺下 石橋秀樹(卯平) 中荒井 金森一彦(啓次郎) 清滝 玉木秀幸(忠) 旭東 田中由紀子(豊美) 矢酒井由美(茂夫) 西山 門前ゆかり(利栄) 稲郷 前川満寿美(豊次)



(知事表彰を受ける小川清君)

た「聖火を迎える県民のつどい」の席上で北知事から表彰された。

福井国体は43年に開かれることに決定
当市では相撲、ソフトボール、山岳の3種目が行なわれます。

私たち市民も国体を迎える心構えと、スポーツに対する理解を深め、この大会を成功させたいものです。

小川清君が1位
作文コンクールで

オリンピック東京大会、福井国体を主題にした県下小・中・高生の作文コンクールで、下庄小学校庄林分校の小川清君(1年生)が1位、藤田文子さん(2年生)が2位に入選。9月29日 福井市体育館で開かれ

あほなこつちやノ

読書週間

夫 「ヤァー読んでるナ」
妻 「家計簿を見てるのノ」

アホナコツチヤノ

生活メモ

読書の候ですが、皆さんはどんな姿勢で本を読んでいますか。いろいろな姿勢があると思いますが、さて正しい疲れない姿勢とは？
まず寝ころんで読む場合を考えますとこれは腕がすぐに疲れてしまいます。また、うつむいて読む場合、これも胸を圧迫しよくありません。やはりいすにかけ、机に向つて読むのが一番よいのですがその時に次ぎの点に注意してください。
①いすが高すぎて、「カカト」が床につかず、つま先をたてているのは足が疲れてよくない。
②反対にいすが低すぎると、腕を机の上のせる場合、無理になり疲れる。
③最もよい条件はいすにかけた場合、足の裏が床につき、ヒザの角度が直角、そして曲げたヒジの高さは机と水平に。こんな姿勢でどうぞ。

調理師試験実施

日 時 十一月二十九日午後一時
願書受付 十一月十一日まで、保健所
試験科目 衛生法規、公衆衛生学、栄養学、食品衛生学、調理理論
受験手数料 五百円(県収入証紙)
受験資格、その他詳細は保健所へお問い合わせのこと。

「読書はこんな姿勢で」

事前に許可を 農地などの転用

現況が田、畑、採草地であるものを宅地などに転用しようとする時は事前に知事の許可を受けなければなりません。最近この許可を受ける前に転用に着手するものが見受けられますので、早めに申請書を農業委員会へ提出してください。

農業委員会では今後、転用着手済みのものは申請を受け付けしないことになりまた摘発されますと3年以下の懲役または10万円以下の罰金に処せられますからご注意ください。そのため農業委員会で

は、書類の取り扱いを次ぎのとおり決めましたのでご協力ください。

①申請書締め切り 毎月15日

②農業委員会開催 毎月25日

その他くわしいことは市役所農務課、最寄り農業委員におたずねください。

(市農業委員会)

代理受領には委任状を 支払いは午後3時30分まで

市が業者のみなさんから購入した物品の代金受け取りについては、是非次ぎのことをお守りください。

①支払い時間 毎日午前9時から午後3時30分まで。土曜日は午前11時まで。

②受領のときは必ず請求に使った印鑑を持参してください。

③ご希望により口座振替(銀行等の預金口座)もできますから窓口へ申し出て下さい。なるべく便利な口座振替をご利用してください。

④代金の受領を代理人に委任したときは委任状を持参してください。

これをお間違いになりますとお支払いできません。

郷土の産業発展は わたくしたちの手で

来春の卒業を控えて、就職を希望しておられるお子さんをお持ちのご家庭ではいろいろ話題がおりることと思います。いま郷土の産業である織物業界ではとくに若い人たちの力を求めています。

女子の皆さんは、是非市内の企業に就職させてあげてください。現在の給与や労働条件は、県内も県外もほとんど同じです。また男子の皆さんには、県外に出なくても県内にたくさん職場があります。

将来よき家庭人、よき社会人となるために、まず郷土大野市、福井県の産業発展に、是非力を貸して下さるようお願いいたします。(大野公共職業安定所)

百日咳、ジフテリア混合 予 防 接 種

○対象者 97年5月1日～同98年4月30日の出生者で都合により3回目を受けられなかった方

○手数料 50円

○11月19日午後1時～2時 於大野公民館

インフルエンザ予防接種

成人病検診

11月 4日	1.00～2.00	春日円徳寺
" 5日	"	六間北電跡(信用金庫前)
" 6日	"	大野公民館
"	2.00～2.90	六呂師小学校
" 10日	1.00～2.00	小山公民館
" 11日	"	乾側公民館
"	"	春日円徳寺
" 12日	"	六間北電跡(信用金庫前)
"	"	富田公民館
" 13日	"	大野公民館
" 17日	"	下庄公民館
" 18日	"	曙城東会館
" 20日	"	上庄公民館
" 24日	"	大野公民館
" 25日	"	阪谷公民館
" 26日	"	二番下教願寺
" 27日	"	上庄公民館

11月 2日	9.30～10.30	五箇公民館
"	11.00～11.30	下打波校
"	13.00～15.00	上打波校
" 9日	10.00～11.00	六呂師
"	12.30～14.00	阪谷公民館
"	14.30～15.30	松丸分校
" 10日	13.00～14.30	小山公民館
" 11日	13.00～14.30	乾側公民館
" 12日	10.00～11.00	森目校
"	13.00～14.30	富田公民館
"	15.00～16.00	蕨生校
" 13日	13.00～14.30	庄林校
" 16日	9.30～10.30	木ノ本分校
"	11.00～12.00	五条方分校
"	13.00～15.00	上庄公民館
" 17日	13.00～15.00	下庄公民館
" 18日	13.30～15.30	曙城東会館
" 20日	13.00～15.00	大野保健所
" 24日	13.00～15.00	大野公民館
" 25日	13.00～15.00	大野保健所

○手数料 成人(中卒以上) 170円
幼児 80円

○手数料 無料

○検診内容 血圧測定、検尿、聴打診

の科学の成否にかかっている。日ざしを望む住民の願いは、ひとり雪、雪への

まらぬ。▼そこで約4か月の冬眠期間のある当市の致命的な条件としての雪の利用を真剣に考えねばならないと思う。例えば種前栽培は雪によつて好条件を生む。大野の年間気象の分析と、丸頭童、真名の流域に広がる扇状地を中心にした種前産地とならないものか。▲宇宙旅行も真近き今日、雪への科学はもつと発展されるべきだ。木枯し、みぞれ、そして根雪、盆地の冬の暗い表情から開る



▼北海道の冷害はひどいそうだが、当市の稲作状況はお蔭でまあまあどころだ。出荷が昨年より一四、八四六

袋も上廻つている理由を考えると、早稲と晩稲が平均して良好だった点、農家の方が産米価格が上つたので、ヤミ米をすつかり返上して供出した点などが挙げられよう。もちろん栽培技術の向上が根底にあるが、米を少しでも売つて農家収入の増大を図らねばという痛切な問題がある。▼農家一戸当りの売上高の平均は三十八万円程度だが、それから必要経費を差し引くと何ほどにもならない。現在の農家は農業外収入で生計を立てている点を考えてみると、手ばなしで米の増収を喜ぶわけにもいかない。▼省力栽培も農業外収入を図る手段となつている現状は、今後ますます深刻となるだろう。近代化資金も年六分五厘の十五年間返済ではどうにもならない。せめてヨーロッパ並みの三分ぐらいで五十年間返済にしてほしいものだ。構想改善も養鶏や酪農を進めて行つても自由化経済のさ中では青物と同様すぐ頭うちを食わされるのではたまらぬ。